

【ご参考資料】

2015年4月20日

野村アセットマネジメント株式会社

「野村グローバル高配当株プレミアム(通貨選択型)」「毎月分配型」の 2015年4月17日決算の分配金について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「野村グローバル高配当株プレミアム(通貨選択型)」「毎月分配型」の2015年4月17日決算の分配金についてご案内いたします。

今回の決算におきまして、「通貨セレクトコース」の分配金を240円から200円に引き下げることにいたしました。分配金引き下げの背景としまして、前回(2014年1月決算)の分配金引き上げ以降、分配金を含めた基準価額(分配金再投資)では良好なパフォーマンスとなったものの、分配金払い出し後の基準価額が低下傾向になったことがあります。

一方、「円コース」につきましては、前回決算の分配金額から変更ありません。

「通貨セレクトコース」の分配金引き下げに関する詳細な説明と今後の見通しについては、次ページ以降をご参照ください。

分配金額と基準価額は下表の通りです。

【分配金】(1万口当たり、課税前)

ファンド	円コース (毎月分配型)	通貨セレクトコース (毎月分配型)
分配金額 (前回決算)	40円 (40円)	200円 (240円)
決算日の基準価額	13,154円	11,332円
決算日の基準価額(分配金再投資) (前回決算)	15,077円 (14,638円)	19,816円 (19,154円)
分配金額設定来累計	1,600円	6,680円

* 設定日:2011年11月18日 * 前回決算:2015年3月17日

* 基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したもとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

分配金は、投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合があります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

——— 上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 ———

【「毎月分配型」の分配の方針】

原則、毎月17日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として、配当等収益等を中心に安定分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合や安定分配とならない場合があります。なお、毎年5月および11月の決算時には、上記安定分配相当額に委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

※「原則として、配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。

分配金は、投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合があります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

通貨セレクトコース(毎月分配型)分配金引き下げの背景

今回の決算では、「通貨セレクトコース(毎月分配型)」の分配金を前回決算時の240円から200円に引き下げました。前回の分配金引き上げ(2014年1月17日決算において120円⇒240円、同決算日の基準価額は13,199円)以降、世界株の上昇や通貨セレクトコースの選定通貨の良好なパフォーマンス等から、通貨セレクトコースは堅調な推移となり、分配金を加味した基準価額(分配金再投資)の2014年1月末を基準とする騰落率は、24.8%となりました。

その一方で基準価額は2015年4月17日現在、11,332円で、上記同期間の騰落率は-7.2%となり、分配金の払い出しにより、基準価額は下落しました。

世界株および選定通貨のキャピタルゲイン(値上がり益)と、配当収益やオプションと為替取引によるプレミアムなどのインカム収入と、足元の分配金と基準価額の水準などを総合的に鑑み、分配金を引き下げました。

<通貨セレクトコース(毎月分配型)の基準価額の推移>

期間:2011年11月18日(設定日)~2015年4月17日、日次



<(ご参考)円コース(毎月分配型)の基準価額の推移>

期間:2011年11月18日(設定日)~2015年4月17日、日次



基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

——— 上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 ———

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等を実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

ファンドの投資環境

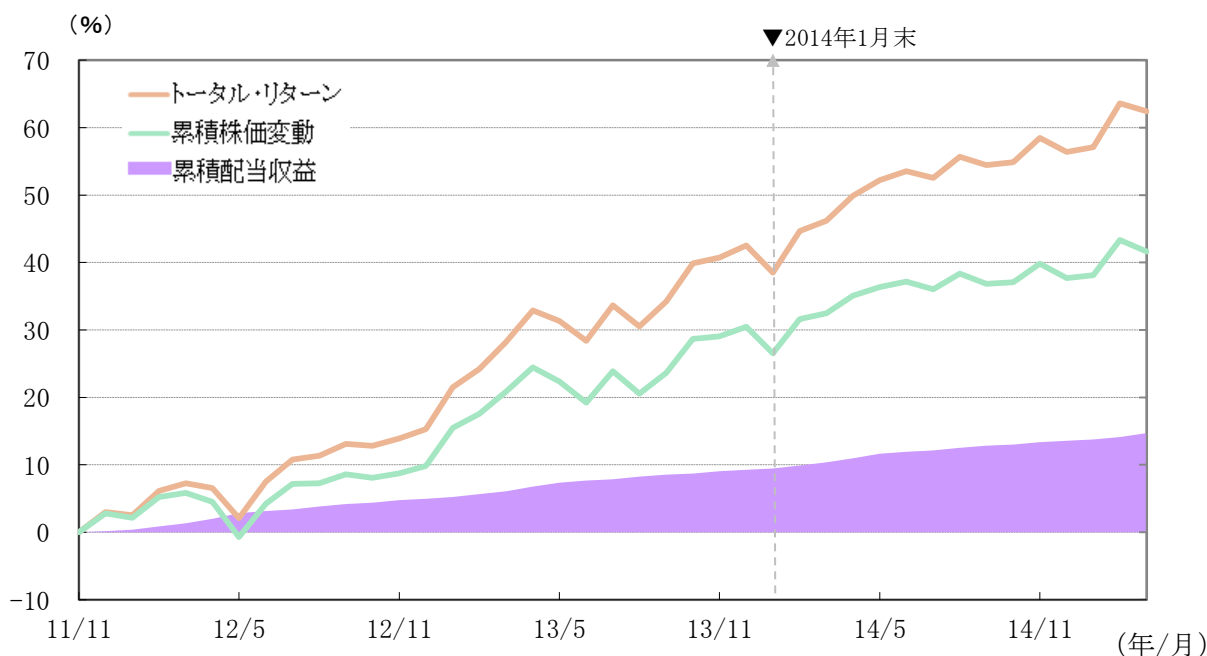
(1) 世界高配当株のパフォーマンス

ファンドが実質的に主要投資対象とする世界の高配当株のパフォーマンスは、米国経済の回復やECB(欧州中央銀行)による金融緩和等から、2014年1月末から2015年3月末までの期間で上昇しました。

同期間において、世界高配当株のパフォーマンス(トータル・リターン)が17.3%上昇するなか、配当収益が+4.8%の寄与となり、相対的に高い配当収益が下支えしました。

<世界高配当株のトータル・リターンの内訳>

期間:2011年11月末~2015年3月末、月次



「トータル・リターンの内訳」は「累積配当収益」と「累積株価変動」からなり、「トータル・リターン」の変動要因を示したものです。各内訳は、世界高配当株指数の月間変化率を2011年11月末を起点に、配当収益と株価変動に分解し、それぞれを月次ベースで累積したものです。複数期間の各内訳を累積する過程で差異が生じる為、「累積配当収益」と「累積株価変動」を足し合わせたものは、「トータル・リターン」にはなりません。

世界高配当株:MSCIワールド・ハイ・ディビデンド・イールド・インデックス(配当込み、現地通貨ベース)
(出所)FactSetデータに基づき野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

MSCIワールド・ハイ・ディビデンド・イールド・インデックスはMSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

(2) 「通貨セレクトコース」の選定通貨のパフォーマンス

▶ 「通貨セレクトコース」とは

「通貨セレクトコース」は、通貨選定における候補国・地域の中から、金利水準、ファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)、流動性等を考慮し、原則として相対的に金利が高い5通貨が選定されます。また、選定通貨は、定期的に(原則、毎月)見直しを行ないます。

「通貨セレクトコース」は、米ドルを売り、当該選定通貨(米ドル以外の選定通貨)を買う為替取引を行ないます。米ドルより短期金利が高い通貨では、為替取引によるプレミアム(金利差の相当分利益)が期待できます。当該プレミアムは、選定通貨の金利収入から米ドルの金利収入を差し引いた数値で表すことができます(簡便法)。

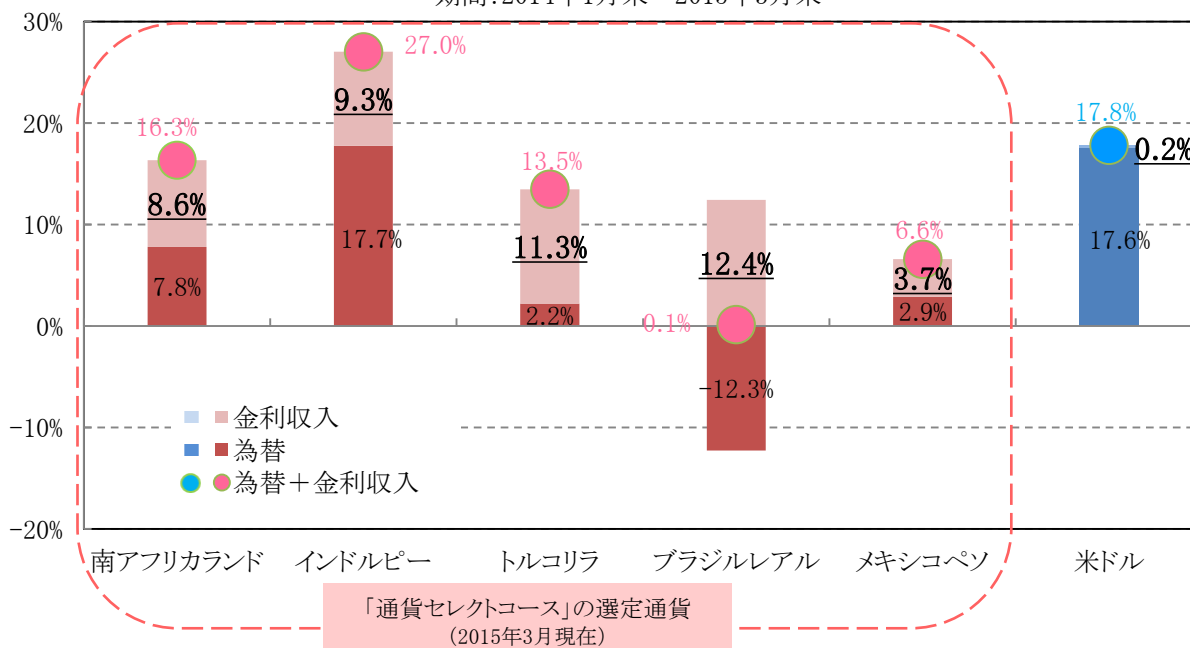
▶ 高金利通貨の効果

以下のグラフは、各選定通貨における2014年1月末から2015年3月末までの為替と金利収入のリターンの効果を示したものです。各選定通貨の為替の動きはそれぞれ異なりますが、高金利通貨の金利収入が大きく寄与していることがわかります。

「通貨セレクトコース」の選定通貨の多くは、高い金利収入を含めることで、当期間において為替の動きが非常に堅調であった米ドルに対しても、見劣りしないパフォーマンスになったことがわかります。

＜選定通貨の為替と金利収入のリターン(対円)＞

期間:2014年1月末~2015年3月末



金利収入を含めた為替のリターンは、JPモルガン・エマージング・ローカル・マーケット・インデックス・プラスの各サブインデックスを使用しています(米ドルを除く)。米ドルの金利収入のリターンについては1ヵ月LIBORを使用して簡易的に計算しています。(出所)ブルームバーグデータに基づき野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

JP モルガン・エマージング・ローカル・マーケット・インデックス・プラス (JP Morgan Emerging Local Markets Index Plus) は、J.P.Morgan Securities LLCが公表している現地通貨建てのエマージング・マネー・マーケットを対象としたインデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等を実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

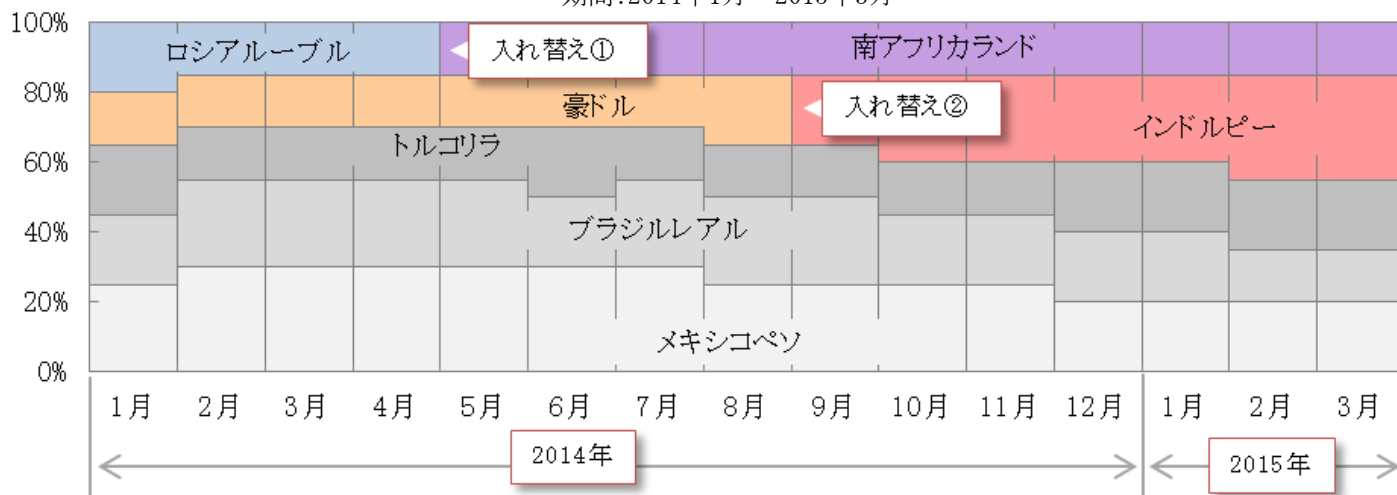
▶ 選定通貨の定期的な見直し

「通貨セレクトコース」における選定通貨の基本配分比率は定期的に(原則、毎月)見直されます。相対的な金利水準に加え、ファンダメンタルズや流動性も考慮して選定します。2014年1月から2015年3月までの期間でみると、2014年5月と9月において選定通貨の入れ替えが行なわれました。

また、入れ替え後の各通貨のパフォーマンスを見ると、選定通貨に追加した通貨は選定通貨から除外した通貨を上回り、通貨の入れ替えの効果があつたことがわかります。

<「通貨セレクトコース」における選定通貨の基本配分比率の推移>

期間:2014年1月~2015年3月

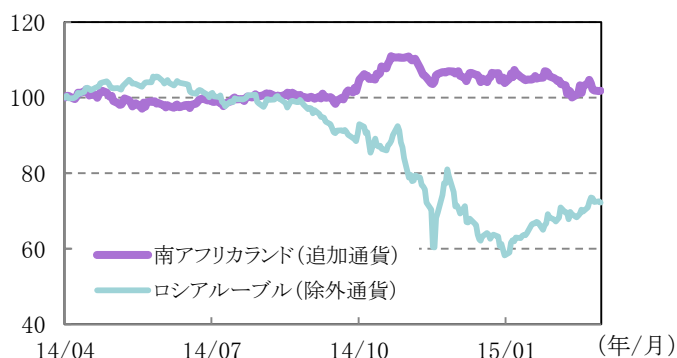


——— 上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。———

通貨入れ替え① 2014年5月

<ロシアルーブル・南アフリカランドの入れ替え後の推移(対円)>

期間:2014年4月30日~2015年3月31日、日次

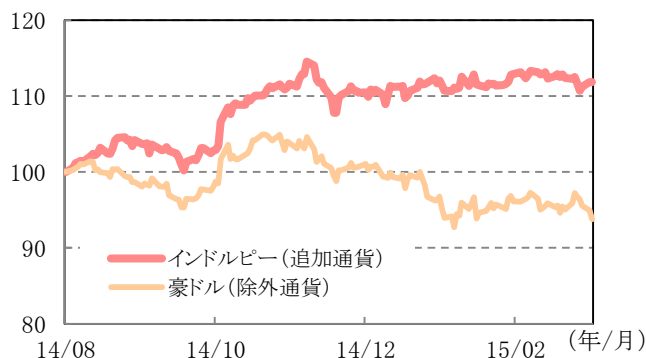


2014年4月30日(入れ替えした月の前月最終営業日)を100として指数化

通貨入れ替え② 2014年9月

<豪ドル・インドルピーの入れ替え後の推移(対円)>

期間:2014年8月29日~2015年3月31日、日次



2014年8月29日(入れ替えした月の前月最終営業日)を100として指数化

(出所)ブルームバーグデータに基づき野村アセットマネジメント作成

——— 上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。———

今後の見通し

当ファンドでは、高水準の配当収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指す(1)「高配当株投資」と、オプションのプレミアム収入の獲得を目指す(2)「株式プレミアム戦略」という2つの投資戦略を組み合わせ運用しています。また、(3)「通貨セレクトコース」では、為替取引を活用し、為替差益と為替取引によるプレミアムの獲得を目指します。

(1)世界の「高配当株投資」

「高配当株投資」では、配当の成長などを背景に、中長期的な株価の値上がりが狙えることに加え、配当利回りに着目する投資戦略により、潤沢なキャッシュフローなどを背景とした高水準の配当収益の獲得が期待できます。配当収益は、株価の値上がり益に上乘せされるほか、値下がり損を一定程度下支えする効果があるため、投資収益の向上・安定化につながります。

ECB(欧州中央銀行)が大規模な金融緩和策を実施したことや、米国経済について底堅い成長が見込まれることなどから、今後、世界の企業業績が上向き、配当が増加する環境となれば、高配当株投資の有効性が高まると考えられます。

(2)「株式プレミアム戦略」

「株式プレミアム戦略」では、保有する銘柄にかかるコール・オプションを売却し、オプションのプレミアム収入の獲得を目指します。当戦略では、オプションの権利行使価格を上回って株価が上昇する場合には投資収益が限定される一方で、オプション・プレミアム収入による投資収益の上乗せが期待できます。結果として、「株式プレミアム戦略」は、株価上昇局面には一定程度追随することに加えて、株価下落局面では下落幅を抑える効果があるため、投資収益の安定化が期待できる戦略であると言えます。

中長期的な観点からは、世界経済は緩やかな成長が見込まれる中、米国においてはQE3(量的緩和第3弾)が終了し、将来的には金利の上昇が意識されやすい局面にあるほか、欧州ではデフレ懸念など経済見通しに不透明感が残っており、株式市場はボラティリティが高くなる可能性もあります。しかし、そのような状況下では、プレミアムの水準は高くなる傾向にあることから、株式プレミアム戦略の有効性が高まると考えられます。

(3)「通貨セレクトコース」の高金利通貨

高金利通貨について、①新興国の経済成長、②先進国の金融環境の2点がポイントになると見えています。

①新興国の経済成長について

中国経済の減速や資源価格の低迷などにより、新興国の経済成長には低下圧力が続いています。一方で、新政権下で経済改革を意欲的に推進するインドや、財政赤字の大幅な削減に取り組みはじめたブラジルなど、長期的な経済の潜在成長力を引き上げようとするような取り組みが各国でみられています。こうした経済・政治改革が奏功し、新興国の成長が加速する局面が再び訪れると考えており、そのような局面では通貨の値上がりが期待できると考えられます。

②先進国の金融環境について

米国では、雇用環境の改善が続く中、年央以降にFRB(米連邦準備理事会)が政策金利の引き上げを開始すると想定しております。ただし、利上げのペースは過去の金融引締め局面と比較して緩やかなものとなる見込みです。また、日本や欧州の金融緩和の強化により、世界的に長期金利は抑制された水準にとどまると考えています。金利水準の低位安定は、投資家の利回り追求の動きを促すことで、今後も高金利通貨の下支え材料となり続けると考えられます。

今後とも「野村グローバル高配当株プレミアム(通貨選択型)」をご愛顧賜りますようお願いいたします。

以上

≪分配金に関する留意点≫

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

【ファンドの特色】

- 「野村グローバル高配当株プレミアム(通貨選択型)」は、投資する外国投資信託において為替取引手法の異なる2つのコース(円コース、通貨セレクトコース(各コースには「毎月分配型」、「年2回決算型」があります。))から構成されています。
- 高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目指します。
- 世界の高配当利回り株式(以下、「高配当株」といいます。)を実質的な主要投資対象*1とします。加えて、保有する銘柄にかかるコール・オプションを売却し、オプションのプレミアム収入**2の獲得を目指す「株式プレミアム戦略」を実質的に活用します。

*1「実質的な主要投資対象」とは、外国投資信託や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

**2 オプションを売った対価として受取る権利料のことを指します。

＜一般的なコール・オプションとは＞

- ・コール・オプションとは、ある特定の商品(株式など)を将来のある期日(満期日など)に、あらかじめ決められた特定の価格(＝権利行使価格)で買う権利を売買する取引のことです。
- ・取引開始日に、コール・オプションの買い手は、その対価として、コール・オプションの売り手にプレミアム(権利料)を支払います。
- ・買い手は満期日に権利を行使して、当該商品を権利行使価格で手に入れることができます。一方、売り手はこの権利行使に応じる必要があります。商品の受渡しによる決済のほか、現金による決済もあります。
- ・株価水準や株価変動率が上昇すること等が、コール・オプションの評価値の上昇要因となります。なお、コール・オプションの売却を行なう場合には、コール・オプションの評価値の上昇は、損失を被る要因となります。
- ※上記は、コール・オプションの全てを説明したものではありません。また、当てはまらない場合もあります。

- 円建ての外国投資信託「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドVーグローバル・ハイ・ディビデンド・エクイティ・プレミアム」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」に投資します。

・「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドVーグローバル・ハイ・ディビデンド・エクイティ・プレミアム」には、為替取引手法の異なる2つのクラスがあります。

コース名	各コースが投資対象とする外国投資信託の為替取引手法
円コース (毎月分配型)／(年2回決算型)	組入資産を、原則として対円で為替ヘッジを行ないます。
通貨セレクトコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	組入資産について、原則として、実質的に当該組入資産にかかる通貨を売り、選定通貨*(米ドルを除く)を買う為替取引を行ないます。

※ 選定通貨は、投資対象とする外国投資信託の共同投資顧問会社が選定した通貨を指します。詳細は、交付目論見書の「各コースが投資対象とする外国投資信託の概要」の投資方針をご覧ください。

- ◆ 通常の場合においては、「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドVーグローバル・ハイ・ディビデンド・エクイティ・プレミアム」への投資を中心とします*が、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。

※ 通常の場合においては、「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドVーグローバル・ハイ・ディビデンド・エクイティ・プレミアム」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。

■外国投資信託「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドVーグローバル・ハイ・ディビデンド・エクイティ・プレミアム」の主な投資方針について■

- ◆ 世界の高配当株を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行なうことを基本とします。
- ◆ 高配当株への投資に加えて、「株式プレミアム戦略」を活用し、さらなる収益の獲得を目指します。「株式プレミアム戦略」とは、保有する銘柄にかかるコール・オプションを売却し、オプションのプレミアム収入の獲得を目指す戦略をいいます。
 - ・各コール・オプションの売却等は、市場環境等を考慮し、それぞれ異なるタイミングで行ないます。
 - ・保有銘柄の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することを基本とします。この場合、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却します。
 - ・同一の銘柄に対し条件の異なる複数のコール・オプションを売却する場合があります。
 - ・各コール・オプションの満期時において、再度コール・オプションを売却する場合があります。この場合、コール・オプション条件は異なる可能性があります。
 - ・ファンドでは、原則として、権利行使が満期日のみに限定されているオプションを利用することを基本とします。

- ◆ 運用にあたっては、野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー株式会社(NFR&T)に、運用の指図に関する権限の一部を委託します。
 - ・NFR&T が、高配当株や株式オプションの運用を行なう副投資顧問会社の選定と、各副投資顧問会社が運用する信託財産の配分比率を決定します。
 - ・副投資顧問会社の選定にあたっては、運用体制や運用プロセスなどに対する独自の定性評価を重視し、高配当株や株式オプションの運用において優れていると判断した運用会社を原則として複数選定します。
 - ・NFR&T は選定した副投資顧問会社およびファンド全体のリスク特性の状況をモニターし、必要に応じて各副投資顧問会社が運用する信託財産の配分比率の変更や副投資顧問会社の入替を適宜行ないます。

主な担当地域	副投資顧問会社	運用の再委託先
米州	BlackRock Investment Management, LLC	BlackRock Investment Management (UK) Limited BlackRock Asset Management North Asia Limited
欧州	Schroder Investment Management Limited	-
アジア・太平洋	野村アセットマネジメント株式会社 Colonial First State Asset Management (Australia) Limited	-

- ・出所：NFR&Tの情報に基づき野村アセットマネジメント作成
- ・上記の各副投資顧問会社は、平成27年3月31日現在のものであり、投資顧問会社の投資判断その他の理由により、適宜増減および入替が行なわれる可能性があります。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

野村グローバル高配当株プレミアム(通貨選択型)
毎月分配型/年2回決算型

- 各コースはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。
 - 「野村グローバル高配当株プレミアム(通貨選択型)」を構成する「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングができます。
 - 分配の方針
 - ◆ 毎月分配型
 - 原則、毎月17日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。
 - 分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として、配当等収益等を中心に安定分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合や安定分配とならない場合があります。なお、毎年5月および11月の決算時には、上記安定分配相当額に委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。
 - ※「原則として、配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものであることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。
 - ◆ 年2回決算型
 - 原則、毎年5月および11月の17日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。
 - 分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。
- * 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

【投資リスク】

各ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、株式等に実質的に投資し、加えてオプション取引を活用しますので、当該株式等の価格下落や、当該株式等の発行会社の倒産や財務状況の悪化およびオプション価値の変動等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。※ファンドの基準価額の変動要因には、この他にも、債券価格変動リスクなどがあります。※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 平成33年11月17日まで(平成23年11月18日設定)
- 決算日および収益分配 【毎月分配型】年12回の決算時(原則、毎月17日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
【年2回決算型】年2回の決算時(原則5月および11月の17日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 一般コース:1万口以上1万口単位(当初元本1口=1円)
または1万円以上1円単位
自動けいぞく投資コース:1万円以上1円単位
※お取扱いは、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スwitching 「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングが可能です。
※販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が下記のいずれかの休業日に該当する場合または12月24日である場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。
・ルクセンブルクの銀行・ロンドン証券取引所・ロンドンの銀行
・ニューヨーク証券取引所・ニューヨークの銀行
・オーストラリア証券取引所・シドニーの銀行
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2015年4月現在)

◆ご購入手数料	ご購入価額に4.32%(税抜4.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年0.9504%(税抜年0.88%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率 ・円コース 年1.9004%程度(税込) ・通貨セレクトコース 年2.0504%程度(注)(税込) (注)純資産総額によっては、記載の信託報酬率を下回る場合があります。 *ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。
◆その他の費用・手数料	組入る有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様が発金を保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会:一般社団法人投資信託協会/
一般社団法人日本投資顧問業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先:野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ ☎ 0120-753104
(受付時間)営業日の午前9時~午後5時

★インターネットホームページ★
<http://www.nomura-am.co.jp/>

★携帯サイト★
<http://www.nomura-am.co.jp/mobile/>

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

野村グローバル高配当株プレミアム(通貨選択型)

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
野村証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○
ふくおか証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第5号	○			

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。